

廃棄物の屋外焼却はやめましょう

冬季に屋外で仕事をするなどとしても防寒対策のため、焚き火をすることが多くなります。

しかし、廃棄物処分を目的に行う一般廃棄物(家庭から排出されるごみなど)や産業廃棄物(建築工事などにより発生する廃材など)の屋外焼却(いわゆる野焼き行為)については、法律により罰せられます。

家庭から出るごみについては焼却せずに、ごみカレンダーに決められている日に分別して、ごみステーションに出してください。

また、事業所から出るごみについては、決められた許可業者に依頼し、適正な処理を行います。

行ってください。

ただし、次のような場合は、焼却を禁止されていませんが、焼却をされる場合は、火災とまぎらわしい行為として、消防署に火災上昇届を提出してください。

焼却禁止の例外となる廃棄物の焼却の例

- ①国または地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却(河川敷の草焼き、道路側の草焼きなど)
- ②震災、風水害、火災、凍害その他の災害予防、応急対策または復旧のために必要な廃棄物の焼却(災害などの応急対応、火災予防訓練など)
- ③風俗習慣上または宗教上の

行事を行うために必要な焼却物の焼却(正月の「しめ縄・門松」などをたく行事、塔婆の供養焼却など)

④農業や林業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却(山林での樹木の焼却、焼き畑、あぜの草および下枝の焼却など)

⑤たき火やその他日常生活を営むうえで通常行われる廃棄物の焼却であって、軽微なもの(落ち葉炊き、たき火、キャンプファイヤーなど)

本町は、清流猪名川、緑豊かな里山、田園地域と開発された住宅地が共存する特性をもち、生活環境の整ったまちです。

この豊かな生活環境を守っていくためにも、焼却禁止の例外行為であっても、他の人の立場にたって、迷惑がかからないように注意しましょう。

▼問合せ 環境対策室(☎766・8712)、また、火災上昇届の提出については、消防本部(☎766・0119)

市民医療講座・健康フェアを開催

とき 12月4日(土)
ところ 市立川西病院

【医療講座】性感染症と子宮頸がん(予防ワクチンも含む)について



▲前回の健康フェア

▼時間 午前10時～同11時
▼内容 最近増加傾向にある子宮頸と尿もれ・更年期障害・無痛分娩など、産婦人科医として気になる最近の話題を解説するとともに、助産師が思春期の娘をもつ親に知っていただきたい日々の関わりについてお話しします。

▼講師 安田進太郎さん(市立川西病院産婦人科医長)、入江穂子さん(同病院助産師)

【健康フェア】健康チェック(血圧、体・内脂肪、骨密度測定)、健康相談、お薬相談、栄養相談、リハビリ相談など

▼時間 午前10時～正午
いずれも、無料で、予約は不要です。
問い合わせは、同病院(☎794・2321)へ。

男の料理教室を開催します

ローストビーフなどクリスマスパーティーで楽しんでいただける料理を作ります



- ▶とき 12月18日(土) 午前10時～午後1時
- ▶ところ 社会福祉会館
- ▶募集人数 16人(先着順)
- ▶主催 男女共同参画グループいき生きライフ
- ▶参加費 1,000円(材料代)
- ▶申込・問合せ 同10日までに企画財政課(☎766-8711)

便利です

いーナビいながわに新マップを追加しました

町ホームページで8月から公開している地図情報サービス「いーナビいながわ」に、新たなマップを追加し、より便利になりました。

●追加した項目 彫刻の道マラソンコース・選挙投票所・広報掲示板・桜の見所・まち協ステーション・彫刻の道・バリアフリー情報・交通事故注意地点など

携帯電話から利用される場合は、左のQRコードを読み取ってください。
詳しくは、企画財政課(☎766・8711)へ。



インフルエンザに罹らないために

森内科小児科医院 森 幸三郎 医師

現在までに人の世界で発見されているインフルエンザウイルスには、A、B、Cの3つの型があります。

毎年「流行」を起こすのはA型とB型で、中でも大流行を起こすのはA型です。

インフルエンザ(流行性感冒)とカゼ(普通感冒)の大きな違いは、症状の重さと原因ウイルスの感染力です。

インフルエンザは、ウイルスの感染を受けてから1～3日間の短い潜伏期を経て、38度以上の高熱や頭痛、筋肉痛、

関節痛、全身の倦怠感などの症状が突然あらわれます。

この後、咳、鼻汁などの上気道炎症が続く、約1週間で軽快します。

睡眠不足や、体力が落ちているときなどにインフルエンザにかかりやすいです。

インフルエンザの予防法は、十分な睡眠と栄養で体力の維持が大切です。

感染予防は、うがい・手洗いが一番です。

またマスクをして鼻、のどなどを乾燥から守り、加湿器などを使用するのも良いでしょう。

感染防御のためには、早めにワクチンを接種する事です。小さな子どもの場合は、急性脳症になったり、高齢者の場合は、肺炎を併発したりするケースもあります。

このことが原因となり、死亡者数が他の年齢と比べて非常に高くなりますので、是非早めにワクチンを接種されることをお勧めします。

人権作文

一平は、とってもゆう気があってがんばる子だなど思いました。

自分からやろうと思えるのがすごいなと思いました。

半日村をべん強して

お友だちにも言わないし、おかわらないまでもあきらめない一平の心の中には、村を悪く思われたくない、大事だから、すきだから、という気持ちがあふれていた。

「一平がふくろをかついで山にのぼった。てっぺん

につくと、てっぺんの土をふくろにつめておりてきた。おりてくるとそいつをまえのみずうみにぎあつとあけた。」というところが大へんだらうなど思いました。

もし自分がどうしてもやらなきゃいけない事は、さいしょからあきらめなくて、一回

はやってみないとわからないし、どうしても一人じゃできない事は、お父さんやお母さんやお友だちにお手つだいをしてもらいます。

木村ももさん(つつじが丘小学校三年の時の作品)